

第32回 日本スポーツ運動学会大会プログラム

大会テーマ:「新たな身体教育に向けて」

於: 上越教育大学

日本スポーツ運動学会ホームページ: <http://bewegung.jp>

□第一日目(平成31年3月17日・日曜日)

- 11:50~12:50 定例理事会(第2講義棟202室)
- 12:50~13:20 受付(第2講義棟202室)
(移動)
- 13:30~14:30 開会の挨拶: 川口鉄二(理事長/仙台大学)、ワークショップ(体育館2階)
(1)ワークショップ「長なわとび運動」渡邊 伸(日本スポーツ運動学会会長/文化学園長野保育専門学校)
(2)デモンストレーション「組なわとび運動」上原三十三(愛知教育大学)
(移動・休憩 14:30~15:00)
- 15:00~16:30 基調講演(第2講義棟202室)
「身体の起源」
司会: 周東和好(上越教育大学)
[講師] 渡邊 伸(日本スポーツ運動学会会長/文化学園長野保育専門学校)
(休憩 16:30-16:45)
- 16:45~17:45 【一般発表】*1件割当20分(発表15分、質疑応答5分)(第2講義棟202室)
☆口頭発表(1)・・・座長: 曾根純也(大阪体育大学)
1. 体操競技の鉄棒における後方車輪の技術 -日本トップレベルの技術を有する選手の事例- ○山下龍一郎・森井大樹
2. アイスホッケーにおけるスケーティング技術の体系化に関する考察 ○阿部滉平・周東和好
3. バレーボールにおける「アンダーハンド」の指導体系に関する考察 -運動ファミリーの考え方に基いて- ○海老原宏紀・周東和好
- 19:00~21:00 懇親会: アートホテル上越 11階「旬越料理 妙高」TEL:025-526-7511
新潟県上越市本町5丁目1-11(大学からの送迎バスあり、高田駅より徒歩5分)

□第二日目(平成31年3月18日・月曜日)

- 9:00~ 受付(第2講義棟202室)
- 9:20~ 9:55 平成30年度日本スポーツ運動学会総会(第2講義棟202室)
- 10:00~12:00 対談(第2講義棟202室)
「身体教育について: 新たな身体概念のもとに」
コーディネーター: 周東和好(上越教育大学)・渡辺敏明(信州大学)
<事例報告>
・ 身体教育について: 渡邊 伸(日本スポーツ運動学会会長/文化学園長野保育専門学校)
・ 子どもの体がひらかれるとき-二人称的アプローチを視点に-: 畔上一康(信州大学)
・ 「感覚を生きる」身体としての体育学習: 関 浩司(信州大学附属小学校)
・ 机拭きの手の動かし方の事例: 海老原 豊(群馬県立赤城特別支援学校)
- 12:00~13:00 昼休み(学食 営業予定)
- 13:00~15:15 【一般発表】*1件割当20分(発表15分、質疑応答5分)(第2講義棟202室)
☆口頭発表(2) 13:00-14:00・・・座長: 野田智洋(高知大学)
4. 小学校期における動きの自己観察能力の向上に関する事例的考察 ○佐藤貴紀・周東和好
5. 動感身体知の修正指導に関する事例研究 -サッカーのポストプレー動作を対象とした発生状態に着目して- ○稲垣就斗
6. 跳び箱運動における異なる切り返し系技の動感の使い分け -「屈伸跳び」と「開脚伸身跳び」の促発指導- ○長谷川晃一・周東和好
(休憩 14:00-14:15)
- ☆口頭発表(3) 14:15-15:15・・・座長: 三輪佳見(宮崎大学)
7. 直接的補助による運動呈示 -知的障害者のハードル走の事例- ○海老原豊・周東和好
8. 胎児始原安寧的な受動的志向性の創発支援に関する考察 -ハイリスク新生児に対する間身体操作的理学療法を通じて- ○岸本 眞
9. 自己の運動学習を通じた運動指導の再考 ○松山尚道
- 15:15~ 閉会の辞